

ToWN 特別企画ウォーキング（7月20日 火 遠出）見どころ案内

「西武球場から狭山緑地・東大和公園・狭山公園へ」 6.4Km

参加費:一般 500円（年間定額参加の方は除く） 9時30分 西武球場前駅 集合
※年間定額参加についてはスタッフにお尋ねください

当日の実施有無等の状況については、右下の ToWN QR コード（掲示板）でご確認ください!!

《狭山緑地》

東大和市の北部に位置する「狭山緑地」は、植物や昆虫類、鳥類などが身近に観察できる貴重な緑地であり、市民を始めとして、やすらぎの場、憩いの場として広く活用されています。

借地公園であった処を、昭和60年度に都市計画緑地として都市計画決定し、用地の公有化を目指し事業を進めています。



展望広場から見る富士山



緑地の中に作られた木道



竹林沿いの道

《都立 東大和公園》

東大和公園は、多摩湖の南にあり、狭山丘陵では最も美しい雑木林の残る場所です。昭和40年代後半に団地開発が計画された際に、多くの市民が東大和市とともにこの里山の自然を守りたいと東京都に働きかけ、都立最初の丘陵地公園として開園しました。それ以来、市民団体が長年、自然観察や植生の調査を行い、公園管理者と意見交換しながら雑木林の手入れに取り組むなど、多くの人の里山への思いによって守られています。

東大和公園は、雑木林の自然や文化、市民の思いを伝え発展させる野外博物館となっています。



《都立 狭山公園 案内図》

狭山公園は、都立狭山自然公園の区域内にあり、武蔵野の里山の風景や自然が今も色濃く残っています。都民の水がめである多摩湖（村山貯水池）の堰堤の東側に広がり、雑木林の中に宅部（たっちゃん）池や太陽広場などがあります。

園内にはソメイヨシノ、ヤマザクラ、サトザクラ等の桜が植えられており、趣の異なる品種を堪能できます。宅部池周辺のイロハモミジ、ハナミズキは新緑の頃と秋の紅葉の美しさは格別です。

説明文はいずれも Web サイトより引用（コピー）



園内の遊具広場を望む



宅部（たっちゃん）池



ToWN QR

問い合わせ先：ToWN 事務局 尾崎 裕 090-2423-1461